

秋葉山古墳群(海老名市)

ここが秋葉山古墳群が所在する座間丘陵の頂部/標柱と説明板が立っている/背後は1号墳/南側から見たところ



秋葉山古墳群は、座間丘陵の頂部に立地し、海老名市内で最も標高の高い場所（標高75～80m）にあります。北から第4号墳・第5号墳・第3号墳・第2号墳・第1号墳と5基の墳墓が地形に沿って連なっています。

古墳群から西を望むと、現在「海老名耕地」と呼ばれる水田と南北に流れる相模川が一望に見渡せます。また相模川の向こうには、丹沢山塊や大山を望むことができます。

このような景勝地であり、交通の要衝であったことから、この辺りを治めていた首長は、この地に歴代の墳墓を築いたと考えられます。

昭和63年（1988）から平成15年（2003）までの発掘調査によって、3世紀後半から4世紀にかけて継続的に造られたことがわかりました。年代が古い順に第3号墳第4号墳→第2号墳→第5号墳・第1号墳となり、不整形で低い墳墓から徐々に整った前方後円墳へと変遷していく様子をとらえることができます。中でも、第3・4号墳は弥生時代から古墳時代の移行期に造られたと考えられ、東日本では数少ない貴重な遺跡です。

これらのことから、南関東における出現期古墳のあり方およびその時期の社会を考えるうえで重要と評価され、平成17年（2005）7月14日に国指定史跡となりました。



図1 古墳遺跡群（昭和13年撮影）

国指定史跡 範囲（12,365m）

年代	各古墳概要		調査状況	出土遺物	
3世紀	3号墳	墳形	前方後円形（現状は円形）		
		墳長	大正時代の記録から推定5.1m 後円部（不整形円形）約3.8～4.0m		
		年代	3世紀後半		
		遺構	周溝、竪坑		
3世紀	4号墳	墳形	前方後方形		
		墳長	37.5m		
		年代	3世紀後半		
		遺構	周溝		
3世紀 （秋葉山）	2号墳	墳形	前方後円形		
		墳長	50.5m（区画溝含まない） 後円部径33m（1号墳と同じ）		
		年代	3世紀末～4世紀初頭		
		遺構	区画溝、くびれ部墳裾溝、 くびれ部焚き火跡		
4世紀	5号墳	墳形	方形		
		墳長	一辺約20m（周溝含まない）		
		年代	4世紀前半		
		遺構	周溝		
4世紀 （山王山）	1号墳	墳形	前方後円形		
		墳長	5.9m（区画溝含まない） 後円部径33m（2号墳と同じ）		
		年代	4世紀前半～中頃		
		遺構	区画溝		

墳丘
溝（周溝・区画溝）

このような景勝地であり、交通の要衝であったこの地に歴代の墳墓を築いたと考えられます。

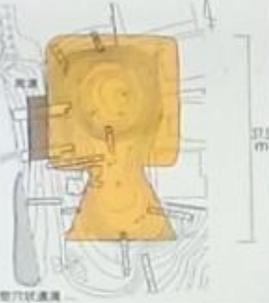
昭和63年（1988）から平成15年（2003）までの発掘調査によって、3世紀後半から4世紀にかけて継続的に造られたことがわかりました。年代が古い順に第3号墳・第4号墳→第2号墳→第5号墳・第1号墳となり、不整形で低い墳墓から徐々に整った前方後円墳へと変遷していく様子をとらえることができます。中でも、第3・4号墳は弥生時代から古墳時代の移行期に造られたと考えられ、東日本では数少ない貴重な遺跡です。

これらのことから、南関東における出現期古墳のあり方およびその時期の社会を考えるうえで重要と評価され、平成17年（2005）7月14日に国指定史跡となりました。



第1・2号墳遺跡（昭和32年頃撮影）
右：第1号墳、左：第2号墳

国指定史跡 範囲（12,365m²）

年代	各古墳概要		調査状況	出土遺物		
3世紀	3号墳		墳形	前方後円形(現状は円形)	 墓坑陥没状況 (西方向から)	 ・片口台付鉢(水銀朱付着) ・高冴(水銀朱付着) ・大型壺
		墳長	大正時代の記録から推定51m 後円部(不整円形)約38~40m			
		年代	3世紀後半			
		遺構	周溝、墓坑			
	4号墳		墳形	前方後方形	 西側くびれ部 (南方向から)	 ・大型壺
			墳長	37.5m		
年代			3世紀後半			
遺構			周溝			
2号墳(秋葉山)		墳形	前方後円形	 北側くびれ部 (東方向から)	 ・円筒形土製品 ・大型壺 ・片口鉢(水銀朱付着)	
		墳長	50.5m(区画溝含まない) 後円部径33m(1号墳と同じ)			
		年代	3世紀末~4世紀初頭			
		遺構	区画溝、くびれ部墳裾溝、 くびれ部焼き火跡			

4世紀

5号墳



墳形	方形
墳長	一辺約20m(周溝含まない)
年代	4世紀前半
遺構	周溝



周溝
(南西方向から)



・小型丸底土器
・小型器台
・小型壺

1号墳(山王山)



墳形	前方後円形
墳長	59m(区画溝含まない) 後円部径33m(2号墳と同じ)
年代	4世紀前半～中頃
遺構	区画溝



前方部の裾と区画溝
(南方向から)



・小型丸底土器



・鉄器

■ 墳丘
■ 溝(周溝・区画溝)

平成18年2月 海老名市教育委員会設置



写真2 上空からみた秋葉山古墳群

1号墳

前方後円墳/4世紀前半の築造



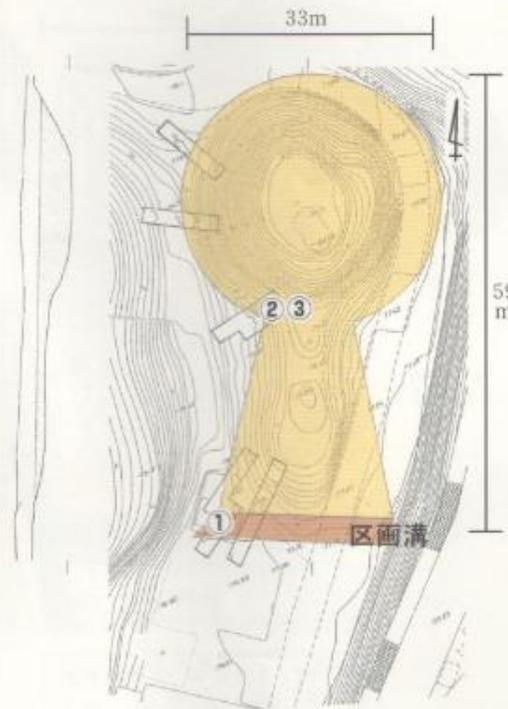
②くびれ部 東から



③くびれ部土器出土状況 東から



第1号墳全景 南西から



年代：4世紀前半
墳形：前方後円形
墳長：59m
後円径：33m（2号墳と同じ）
出土遺物：小型丸底の土器、鉄鏃

第1号墳



①前方部の裾 南から
前方部の南には区画溝があります。
2号墳と同様に溝は前方部側のみ
で、一周しません。



第1号墳出土小型丸底土器



第1号墳出土鉄鏃

南側から前方部を見たところ



右手から反時計回りに廻ってみる



前方部からくびれ部、後円部方向を見たところ



正面中央付近がくびれ部



振り返って後円部からくびれ部、前方部方向を見たところ



北側から後円部方向を見たところ



後円部からくびれ部、前方部方向を見たところ



近づいて見たところ



ここがくびれ部/左手が後円部、右手は前方部



振り返って前方部からくびれ部、後円部方向を見たところ



これは墳丘に登って、前方部から後円部方向を見たところ



反対に後円部から前方部方向を見たところ



2号墳

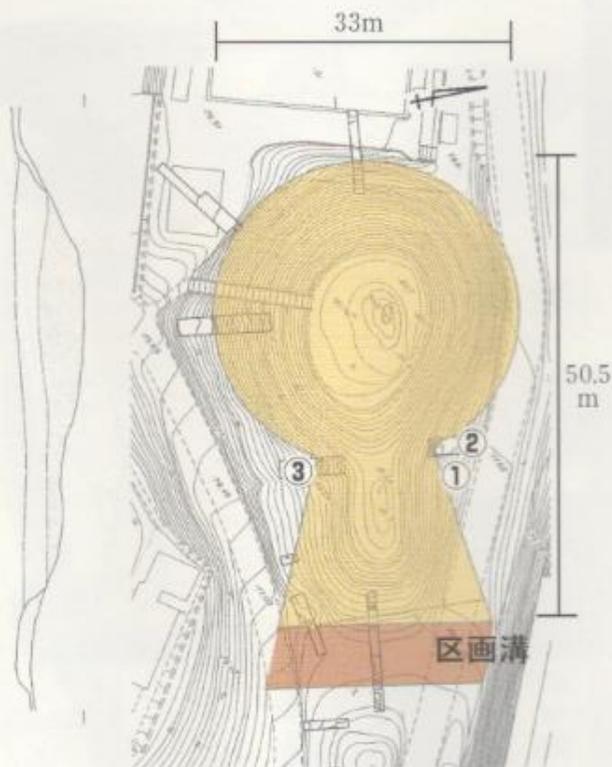
前方後円墳/3世紀末～4世紀初頭の築造



③ 焼き火跡 南東からくびれ部の裾で浅い溝を確認。溝に埋まっていた土は赤く焼けていました。



第2号墳全景 南西から



年代：3世紀末～4世紀初頭
墳形：前方後円形
墳長：50.5m
後円径：33m（1号墳と同じ）
出土遺物：円筒形土製品、壺
水銀朱が付着した土器

第2号墳



第2号墳出土遺物
円筒形土製品、片口鉢、大型壺



① くびれ部 東から



② 円筒形土製品出土状況

東側から見たところで、手前の緑色の高まり(何であろうか?)の遥か向こうが前方部



謎の緑色の高まりを南側から見たところ



これはその緑色の高まりに登って東側から前方部を見たところ



同じく左手から見たところ



同じく右手から見たところ



これが東側から見た前方部



その右手で前方部から後円部方向を見たところ



同じく左手で前方部からくびれ部、後田部方向を見たところ



正面が南側から見たくびれ部、左手が後円部、右手は前方部



これは南側から見た後円部/左手に2号墳と記された標識が立っている/墳頂に登る階段がある



そこから右手(前方部方向)を見たところ



これは西側から見た後円部



その左手で後円部から前方部方向を見たところ



さて、ここが後円部の墳頂/憲政碑などが立っている



これは後円部墳頂から前方部方向を見たところ



くびれ部から前方部



これは前方部から緑色の高まり方向を見たところ



くびれ部から後円部



3号墳

前方後方形墳丘墓/3世紀後半の築造

第3号墳

②墳丘構築状況 東から黒土とローム(黄色土)を交互に積み重ねています。

①周溝と後円部墳丘 南東から古墳の裾に礫が出土。

③墓坑上土器出土状況 片口台付鉢(写真3、水銀朱付着)

前方部は昭和30年代に削られて、現在残っていません。

年代：3世紀後半
墳形：前方後円形(現状は円形)
墳長：推定51m(周溝含まない)
※大正時代の記録から
出土遺物：水銀朱が付着した土器、大型壺

後円部全景 南東から

東側から見た後方部



その左手を見たところ/現在は後円部だけが円形に残っているが、この左手方向に前方部があったようだ



これは南西方向から見たところで、正面の後円部から手前に前方部が延びていたようだが、現在は削平されてしまっている



これは西側の墳丘裾を見たところ/土留めが施されている



これは北側から見たところ



そこで左手(東方向)を見たところ/右手前の墳丘が3号墳で、左手遠方の高まりは2号墳



右手の3号墳を見上げたところ



東側から墳頂へ登ったところ



ここが墳頂



何であろうか？



墳頂にはこんなものもあった



5号墳

方形墳丘墓/4世紀前半の築造



①壺出土状況



②周溝 南東から



年代：4世紀前半
墳形：方形
墳長：一辺約20m
出土遺物：小型丸底の土器、小型器台

第5号墳



第5号墳全景 北から



第5号墳出土遺物
飾りはなく、丁寧に磨かれた小型の土器

南側から見たところ



近づいて見たところ



南東側から見たところ



東側から見たところ



北東側から見たところ



北側から見たところ



4号墳

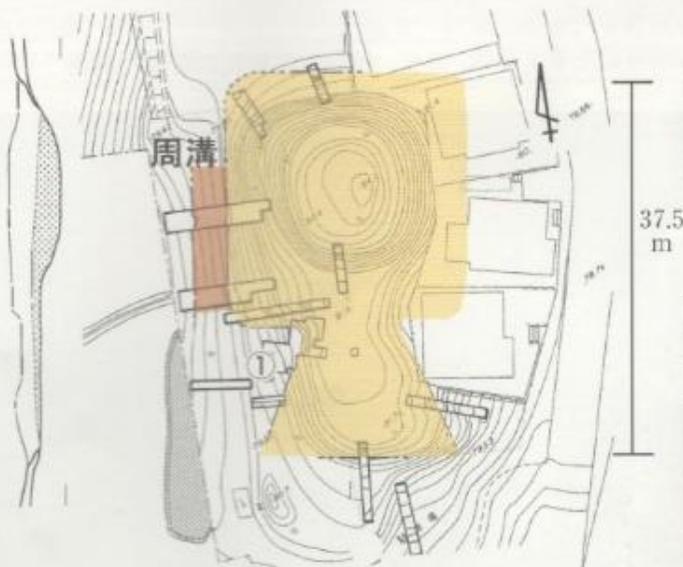
前方後方形墳丘墓/3世紀後半の築造



①くびれ部 南西から
ここで前方後方形であることが確定
されました。



第4号墳全景 南から

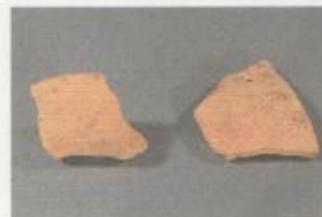


年 代：3世紀後半
墳 形：前方後方形
墳 長：37.5m
出土遺物：大型壺、壺の破片

第4号墳



第4号墳出土大型壺



第4号墳出土遺物
壺の破片、模様が刻まれて
います。

南側から見た前方部



前方部から後方部を見たところ



南側から見た後方部墳頂



後方部背後から後方部墳頂を見上げたところ/北側から見たところ



これは後方部から前方部方向を見たところ



前に進んで、くびれ部辺りから前方部を見たところ



これは前方部から5号墳方向(南方向)を見たところ



これは後方部の右手から前方部方向を見たところ



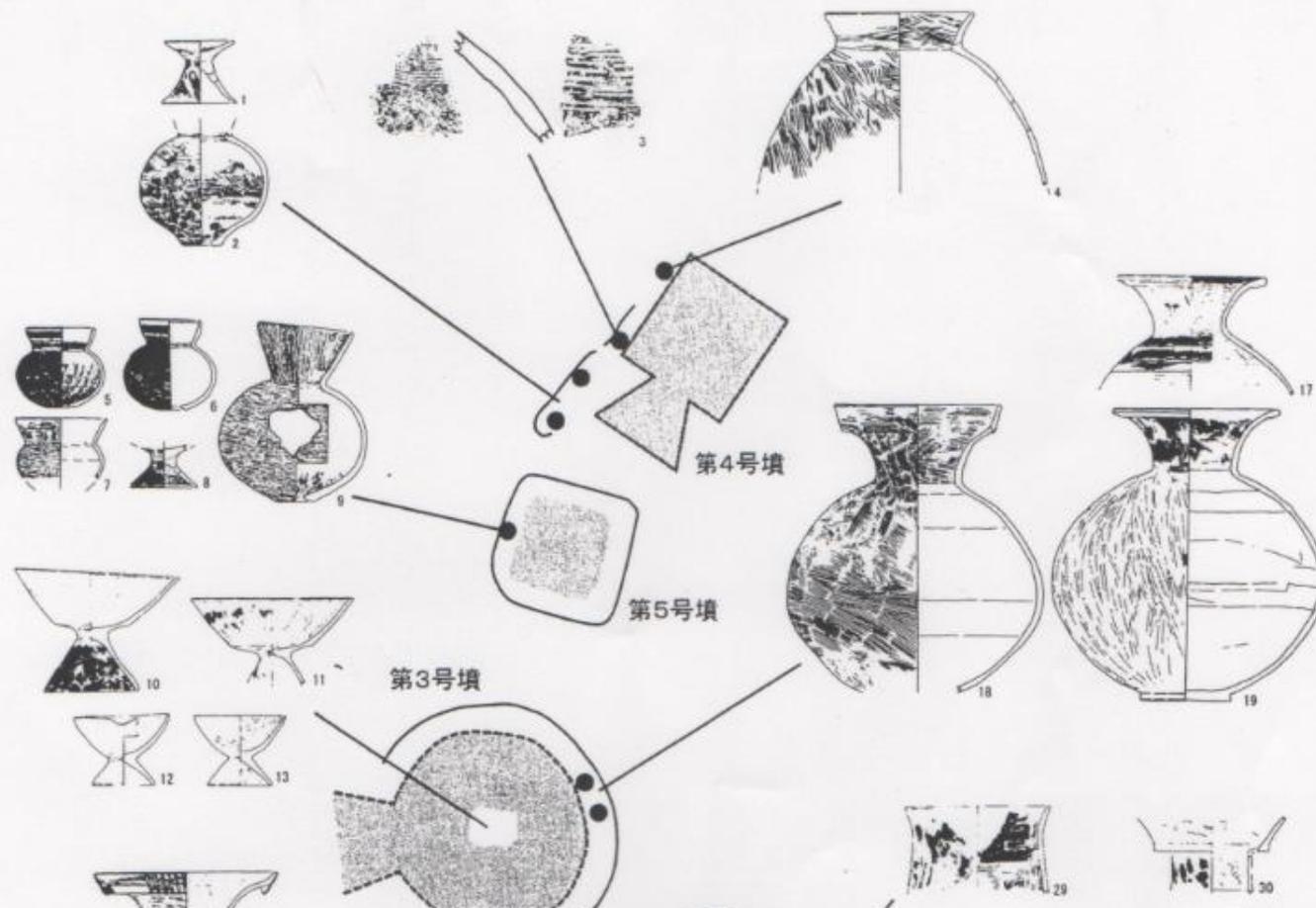
反対に前方部の左手から後方部方向を見たところ

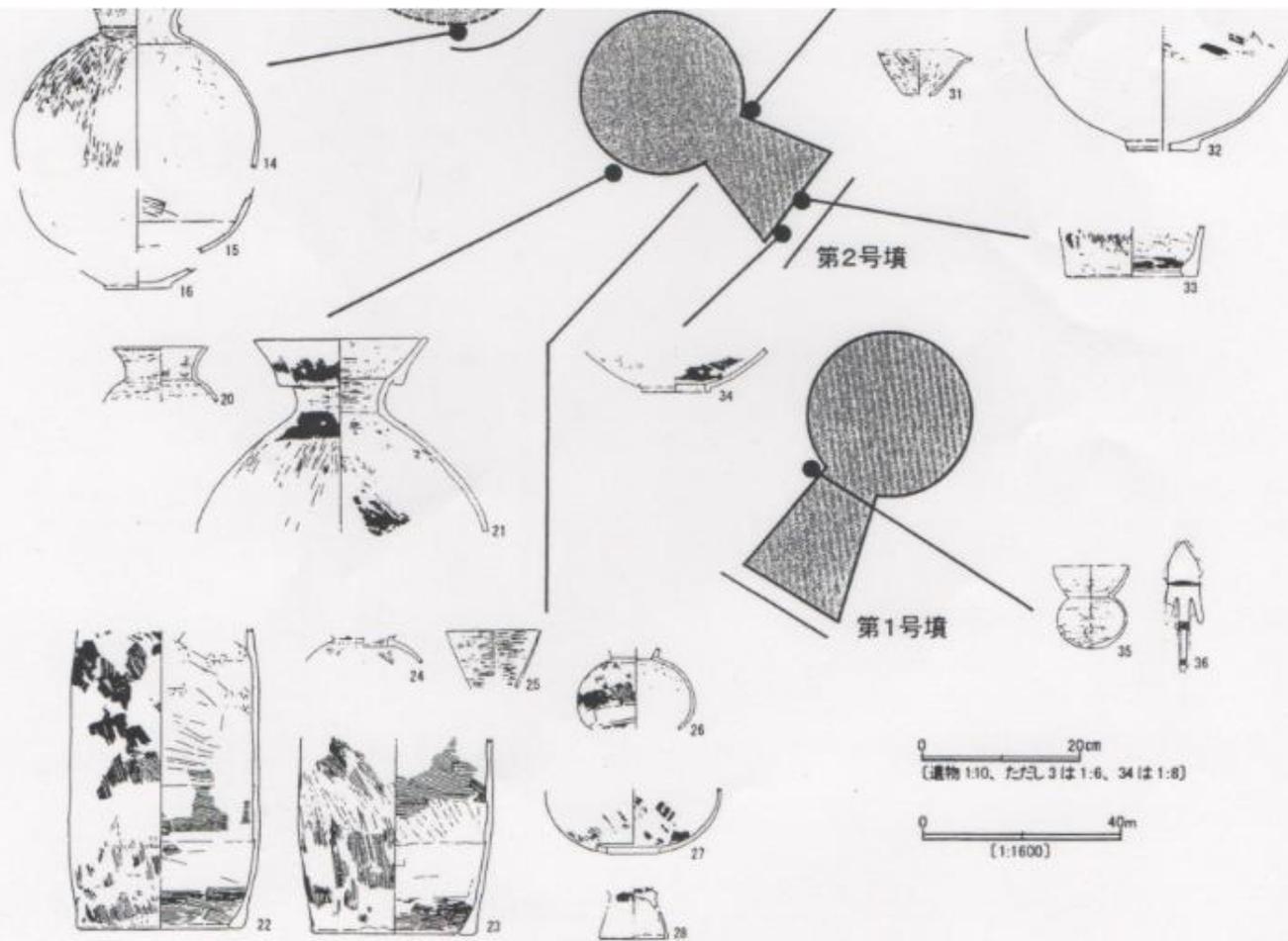


これは温故館(海老名市)に展示されている秋葉山古墳群の出土物



山口正憲：相模湾岸の様相—海老名市秋葉山古墳群を中心に—





第7図 秋葉山古墳群遺物出土位置 (柙方編 2002 より改図)

：憲「相模湾沿岸—秋葉山古墳群を中心に」『東日本における古墳出現について』東北・関東前方後円墳研究会より

参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/?s=%E7%A7%8B%E8%91%89%E5%B1%B1%E5%8F%A4%E5%A2%B3%E7%BE%A4%E3%81%AF&searchsubmit=>

<http://www.city.ebina.kanagawa.jp/www/contents/1149573278655/index.html>

<http://massneko.hatenablog.com/entry/2013/11/25/102829>

<http://mailseijin.blog129.fc2.com/blog-entry-101.html>

<http://kamaoaki.blog.fc2.com/blog-entry-326.html>

<http://kamaoaki.blog.fc2.com/blog-category-48.html>

